

禅寺では、雲版と呼ばれる雲のような形をした青銅器のどらを鳴らし食事の時間を知らせる。このどらは、瑞巖寺の建設前に敷地にあった円福寺のために 1326 年に作られた鋳造物、雲版の複製である。

その後、瑞巖寺の台所と居間（庫裡）に掛けられていた。オリジナルは、重要文化財に指定されており、寺院の青龍殿 に保存されている。